

福岡の昔話 イノシシと月

脚本・演出 西上寛樹
振付・音楽 西村りな

劇団
IPPO...NIHO...さんぽ

おつきさま
なにをみて

わらった
わらった？



福岡の劇団が
福岡の竹を使って演奏し
福岡の昔話を演じます
山へ登り
山で火を囲んで語り
山へ竹を切りに行く。
役者達が自然を感じ
山から様々なことを学びながら創りあげた作品です。

illustration by KogaRyoko



大地を感じるダンス

風の音、影、月、動物、語り...

3人の役者達が子ども達といっしょにお話の世界を楽しみます。



手作りの楽器

竹を切り炙り、一つ一つ丁寧に作った竹楽器の音色はとても心地よい響きを奏でます。

あらすじ

「大変だ！

お月様の元気がないらしい」動物たちが山の広場に集まって相談を始めます。

お月様に元気になってもらおうと十五夜の晩に出し物大会をすることにしました。

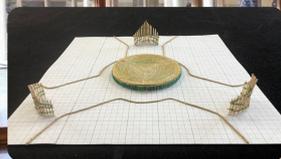
しかし、うかない顔のイノシシ。

「どうしよう、僕は何もできない」ついに泣き出してしまいました。

【キャスト】

西雅子・篠原弘一・稲留沙那

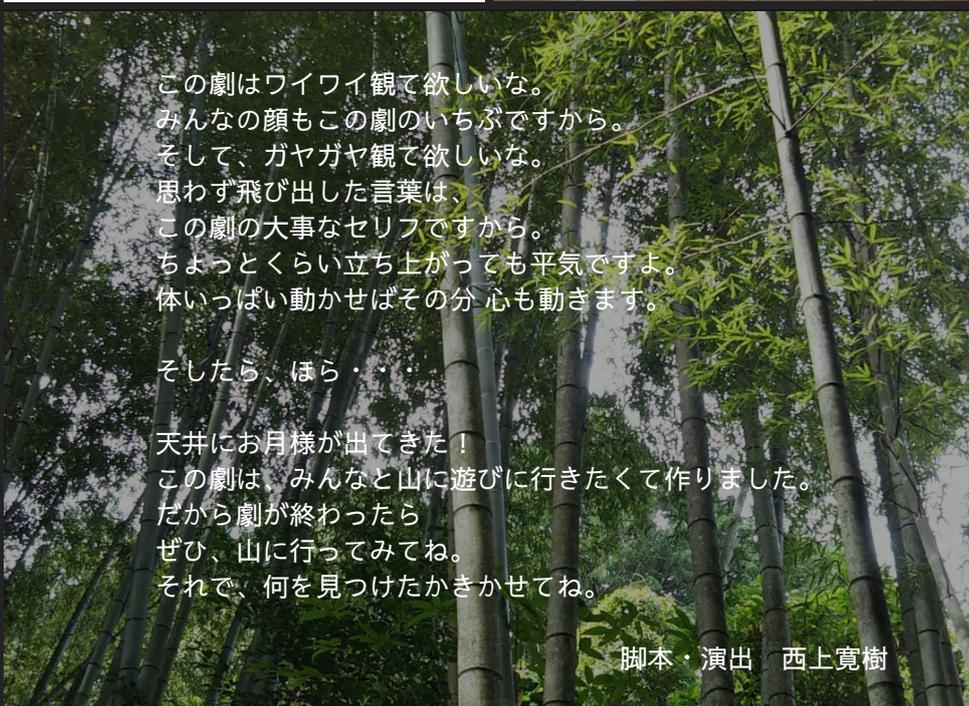
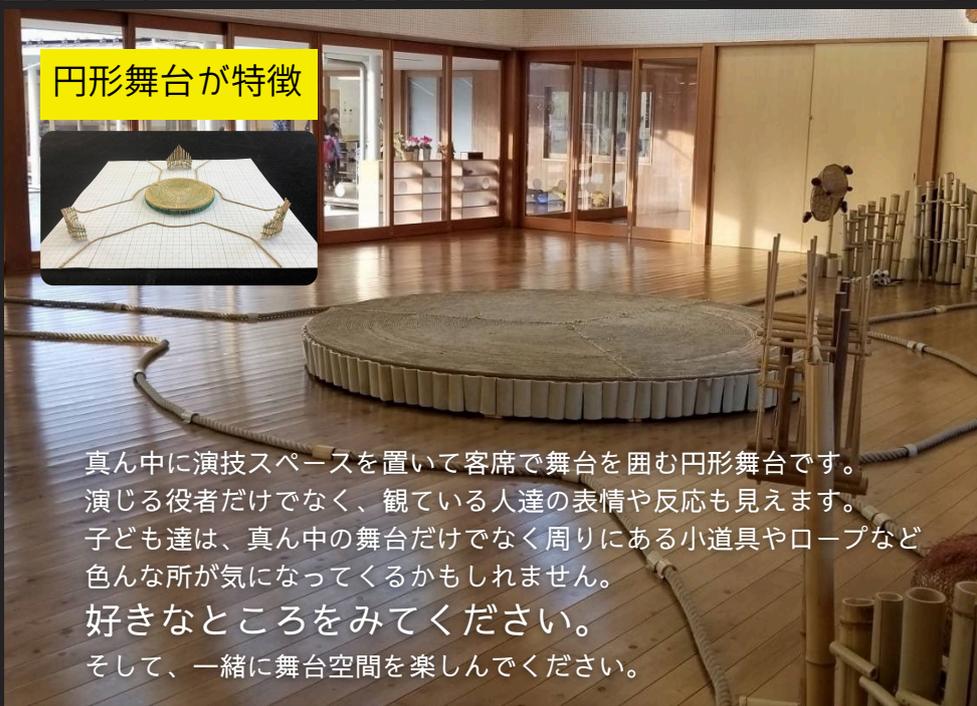
円形舞台が特徴



真ん中に演技スペースを置いて客席で舞台を囲む円形舞台です。演じる役者だけでなく、観ている人達の表情や反応も見えます。子ども達は、真ん中の舞台だけでなく周りにある小道具やロープなど色々な所が気になってくるかもしれません。

好きなところをみてください。

そして、一緒に舞台空間を楽しんでください。



この劇はワイワイ観て欲しいな。
みんなの顔もこの劇のいちぶですから。
そして、ガヤガヤ観て欲しいな。
思わず飛び出した言葉は、
この劇の大事なセリフですから。
ちょっとくらい立ち上がっても平気ですよ。
体いっぱい動かせばその分心も動きます。

そしたら、ほら・・・

天井にお月様が出てきた！

この劇は、みんなと山に遊びに行きたくて作りました。
だから劇が終わったらぜひ、山に行ってみてね。
それで、何を見つけたかきかせてね。

脚本・演出 西上寛樹



〒811-2112
福岡県糟屋郡須恵町大字植木184-22
TEL.092-692-1123
FAX.092-692-1120
Mail info@gekidansanpo.com
HP http://www.gekidansanpo.com



Special Thanks

表紙デザイン：古賀涼子
竹提供：広川町の野中さん
須恵町の近所の方々
舞台装置協力：ジャンクランド